

両館連携企画イベント

前田伸二 スペシャルトークショー

世界一周フライトを成し遂げた隻眼のパイロットが語る
「コロナ禍世界初、私が地球を一人で飛んだ理由」



Impossible is now "I'm possible"

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

日時：2023年3月19日（日） 11:00～12:15

場所：空宙博1階シアタールーム（定員140名）

事前申込あり・入館料のみでご覧いただけます

～連携プレゼント企画～

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館・あいち航空ミュージアムのセット券（共通入館券）で
入館されたお客様へ、オリジナル缶バッジをプレゼント！

期間限定：3月18日（土）～4月9日（日）

あいち航空ミュージアムでの講演についてはコチラ！！

日時：2023年3月18日（土） 13:30～15:00

場所：あいち航空ミュージアム フライングボックス前ステージ

PROFILE

前田 伸二氏

1979年生まれ 北海道出身
米国非営利団体「エアロ・ジパング・プロジェクト」代表 アースラウンダー
中部大学 工学部宇宙航空理工学科 客員准教授



日本航空高等学校卒業後、日本大学理工学部航空宇宙工学科に入学してわずか2ヶ月後に交通事故で片目の視力を失う。

大学卒業後、アリゾナ州のエンブリ・リドル航空大学大学院在学中、片方の目の見えないパイロットとして自家用パイロット免許を取得する。

現在はワシントン州の民間航空機メーカーに勤務しながら、Snohomish Flying Serviceで飛行教官を務める。2018年に米国非営利団体「エアロ・ジパング・プロジェクト」を立ち上げ、2019年からは中部大学の客員准教授も務める。コロナ禍で成功をおさめた世界一周ミッションフライトの飛行技術の高さや安全確保の確実性、また航空普及活動だけでなく広く人々を勇気付けたことが評価され、米国ボナンザ協会では最高位のABSエアマンシップ賞を受賞。

著書：単独世界一周フライトを成し遂げた 隻眼のパイロットが語る「夢を実現するための方程式」(IBCパブリッシング)がある。



前田氏の師匠であるエイドリアン・エイコン氏(左から2番目)と



前田氏が乗った単発エンジン飛行機「ボナンザP35型N9787Y」は、かつての愛犬と同じく「ルーシー」と名付けられました



世界一周フライトに挑戦する前田氏
2021年に、コロナ禍では世界初、隻眼のパイロットとしては史上2人目の世界一周フライトを達成

講演内容

片方の目の見えないパイロットとして、一度絶たれた夢を、諦めずに逆風に立ち向かい続けることで目標を実現させたご自身の経験を語っていただきます。

「夢を持ち続ける大切さと、その難しさ」を未来に担う若者とその周りの大人たちへ伝えるため、NPO団体AERO ZYPANGU PROJECTを立ち上げ、精力的に講演活動をされています。

2021年、自らの行動で「限りない可能性がこの世界にはある」ということを証明、伝えていくため、単発エンジン機体での世界一周プロジェクト“Earth Rounder:アースラウンダー”をコロナ禍世界初で成功させ、アースラウンダー挑戦に至るまでの背景、なぜこの挑戦が日本人に必要なのかをご講演いただきます。



岐阜かがみがほら
航空宇宙博物館
GIFU-KAKAMIGAHARA AIR AND SPACE MUSEUM

〒504-0924 岐阜県各務原市下切町5丁目1番地
【問い合わせ】 TEL: 058-386-8500
E-MAIL: sorahaku@sorahaku.net
【入館料】 大人800円/高校生・60歳以上500円/
中学生以下無料
【開館時間】 平日10:00~17:00/土日祝10:00~18:00
【ウェブサイト】 http://www.sorahaku.net



【アクセス】

鉄道・バス
名鉄各務原線「各務原市役所前」下車、ふれあいバス稲羽線または、川島線「各務原市役所前停留所」乗車、「航空宇宙博物館前」下車

自動車

東海北陸自動車道岐阜各務原ICから約7km(1)国道21号を美濃加茂方面へ直進し、「那加大東町」を右折(2)「那加大東町」交差点から信号3つ目の「上戸町」交差点を左折(3)次の信号交差点を左折

